

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ミッション（使命）

医療という希望を創る。患者視点の医療をひとりでも多くの方へ提供できる環境を創る。

ホスピス定員数
2,234名

ホスピス稼働率
83.2%

訪問看護ステーション
89拠点

メディカルケアレジデ
2,125名

② 中長期の経営戦略

1. 医療機関セグメント拡大

経営支援サービスの拡大と支援先医療機関数増加。米国、ベトナム、インドネシアでの事業展開推進。

3. 訪問看護事業拡張

利用者向けサービス品質最重視。既存ステーション利用者拡大と新規エリア展開。半径2～5km圏内でドミナント戦略。

2. ホスピス事業加速

サービス品質最重視。看取り機能が脆弱な地域を中心に新規展開し、医療依存度の高い入居者向けサービス提供。

4. メディカルケアレジデンス成長

入居者サービス品質最重視。稼働率改善と介護需要高地域への新規開設。要介護度3～4の高度要介護者受け入れ推進。

③ 対処すべき課題

① 日本の高齢化と医療従事者不足

- ・ 65歳以上人口割合が2021年29%から2040年35%へ急速高齢化
- ・ 労働人口が2020年69.0百万人から2040年65.4百万人に5%以上減少
- ・ 医療従事者確保が危ぶまれる中での需要対応

② 医療機関の事業継承課題

- ・ 2022年時点で60歳以上の経営者が病院の68.7%を運営
- ・ 後継者不在の病院が68.4%（2017年時点）
- ・ M&Aによる安定的運営への医療機関承継の進行予測

③ 訪問看護業界の供給不足

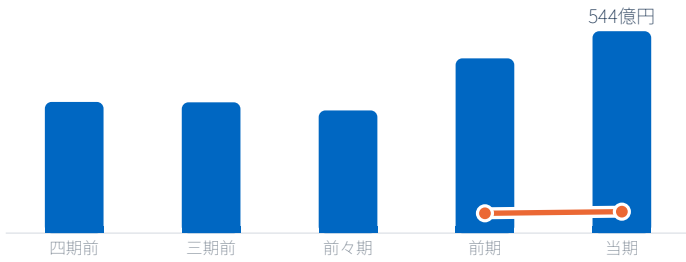
- ・ 利用者数が2011年38.5万人から2019年83.5万人に年平均10.1%増加
- ・ がん・難病患者569万人に対し需要高い
- ・ 従業員5人未満の小規模ステーションが57%を占め、24時間365日対応可能な大規模事業所ニーズが高まる

面接で使えるポイント

- ・ 医療課題解決による地域包括ケアシステムの効率化で、日本の高齢化社会に貢献する事業展開
- ・ ホスピス定員2,234名、訪問看護ステーション89拠点の実績から、医療依存度高い患者向けサービスで社会的使命を実現
- ・ Change Until Changeの企業理念で、医療機関経営支援から海外展開まで…

証券コード 9158

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
544億円営業利益率
10.6%財務健康度
52点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 52.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
666万円

サービス業内 164位/524社

平均年齢
39.7歳

サービス業内 217位/527社

平均勤続
3.5年

サービス業内 439位/527社

女性管理職
16.7%

サービス業内 214位/371社

男性育休
-（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考：【福祉ジャーナリスト×がん看護専門看護師が登壇】CUCホスピ

